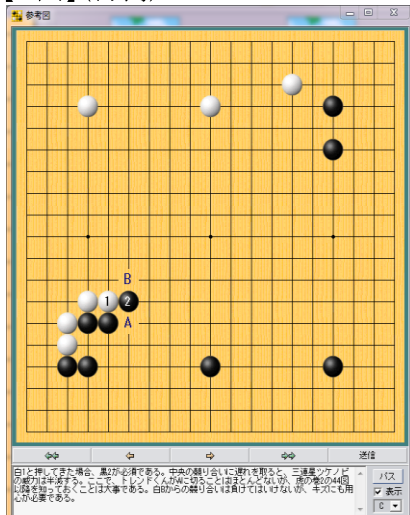


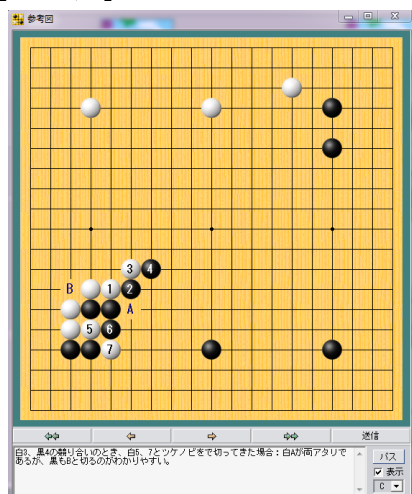
25. 宿題その 1. ツケノビに押してきたときの対応 (1)

【9図】(再掲)



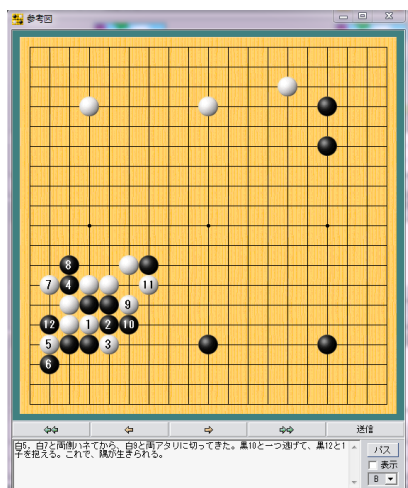
【9図】(再掲) 三連星ツケノビ作戦が奏効したためか、GoTrend 君は白 1 と押してくることが多くなった。黒 2 とハネて、中央の競り合いに負けないことが重要と前述したが(p.7)、GoTrend002 君の協力の下に、その後の典型的な進行をまとめてみる。

【65-1 図】



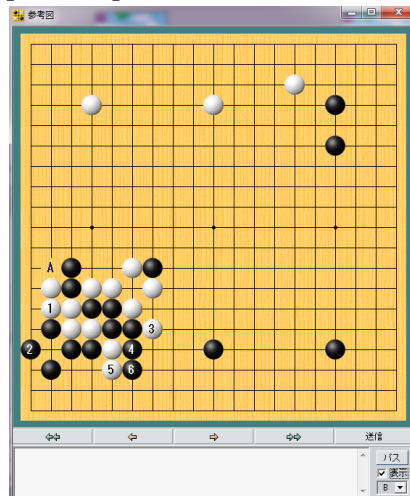
【65-1 図】(56-1 図から出切り) まず、白 3、黒 4 の競り合いのとき、すぐに白 5、7 とツケノビを出切ってきた場合：白 A の両アタリがあるが、構わず黒 B と切っていくのがよさそうである。

【65-2 図】



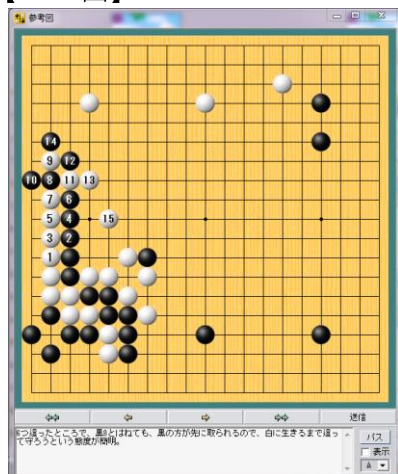
【65-2 図】白 5、白 7 と両側ハネてから、白 9 と両アタリに切ってきた。黒 10 と一つ逃げて、黒 12 と 1 子を抱える。これで、左下隅は生きられる。

【65-3 図】



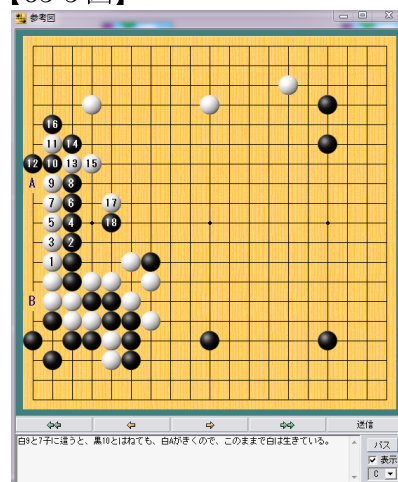
【65-3 図】白 3 からアテてきても、黒 4、6 と逃げて、左下を確保できる。白は A と生きるまで這うしかないようである。

【65-4 図】



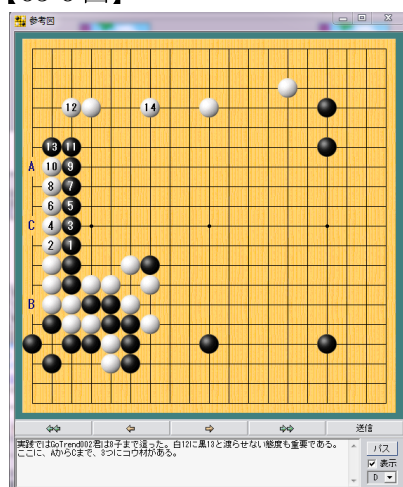
『注意 1』【65-4 図】白 7 と 6 子に這ったところで、黒 8 とはねても、黒の方が先に取られるので、白に生きるまで這ってもらうという態度が簡明。

【65-5 図】



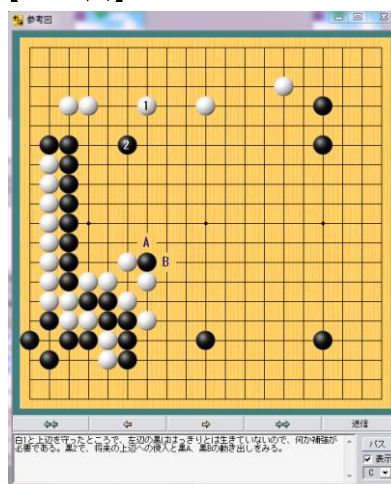
『注意 2』【65-5 図】白 9 と 7 子に這うと、黒 10 とはねても、白 A がきくので、黒 B ハネても押さえて白は生きている。

【65-6 図】



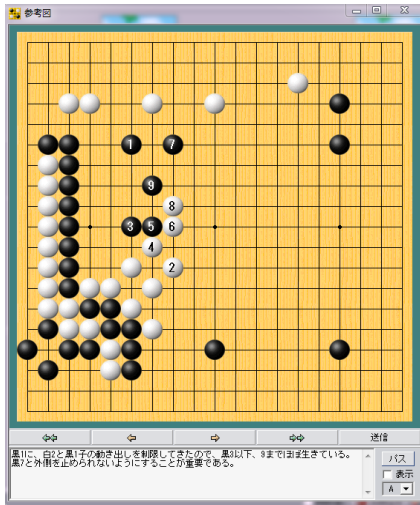
【65-6 図】実践では GoTrend002 君は 8 子まで這った。白 12 に黒 13 と渡らせない態度も重要である。ここに、A から C まで、順番に 3 つのコウ材がある。

【65-7 図】



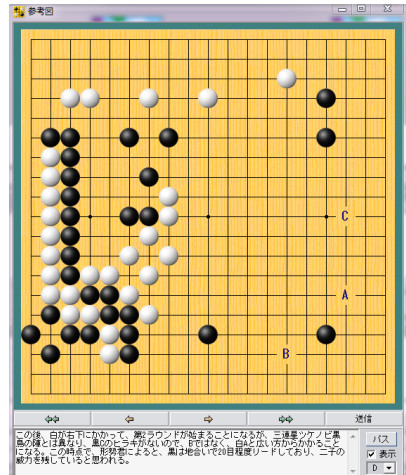
【65-7 図】白 1 と上辺を守ったところで、左辺の黒ははっきりとは生きていないので、何か補強が必要である。黒 2 で、将来の上辺への侵入と黒 A、黒 B の動き出しをみる。

【65-8 図】



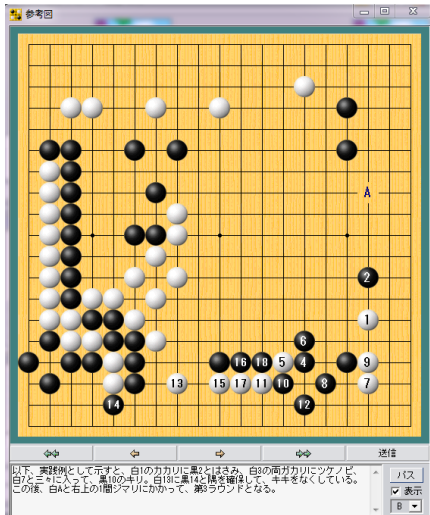
【65-8 図】 黒 1 に、白 2 と黒 1 子の動き出しを制限してきたので、黒 3 以下、9 までほぼ生きている。黒 7 と外側を止められないようにすることが重要である。

【65-9 図】



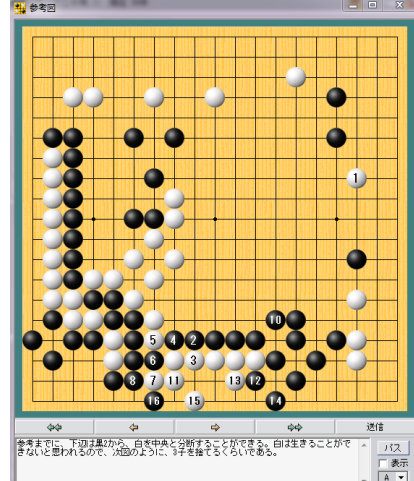
【65-9 図】 この後、白が右下にかかって、第 2 ラウンドが始まることになる。三連星ツケノビ黒鳥の陣とは異なり、黒 C のヒラキがないので、B ではなく、白 A と広い方からかかることになる。この時点で、形勢君によると、黒は地合いで 20 目程度リードしており、二子の威力を残していると思われる。

【65-10 図】



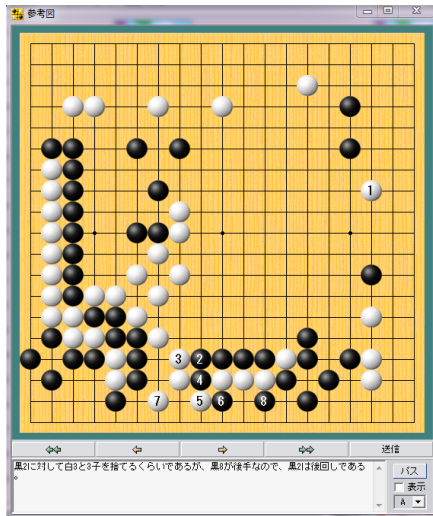
【65-10 図】 以下、実戦例として示すと、白 1 のカカリに黒 2 とはさみ、白 3 の両ガカリにツケノビ、白 7 と三々に入って、黒 10 のキリ。白 13 に黒 14 と隅を確保して、キキをなくしている。この後、白 A と右上の 1 間ジマリにかかって、第 3 ラウンドとなる。この時点での形成君の判断によると、白 1 とかかる前と変わらない差を維持している。

【65-11 図】



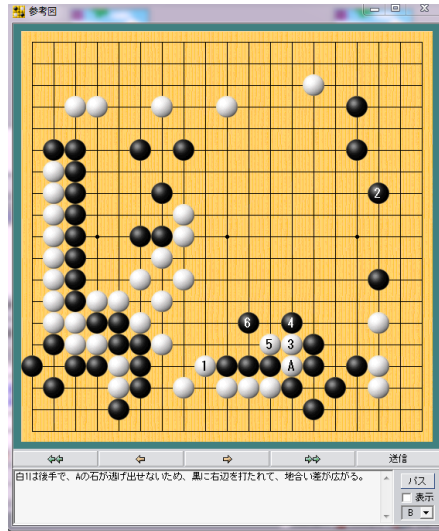
【65-11 図】 参考までに、下辺は黒 2 から、白を中央と分断することができる。白は生きることができないと思われるので、次図のように、3 子を捨てるくらいである。

【65-12 図】



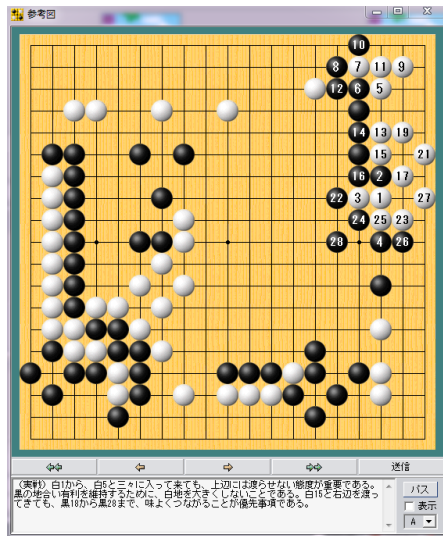
【65-12 図】黒 2 に対して白 3 と 3 子を捨てるくらいであるが、黒 8 が後手なので、黒 2 は後回しである。

【65-13 図】



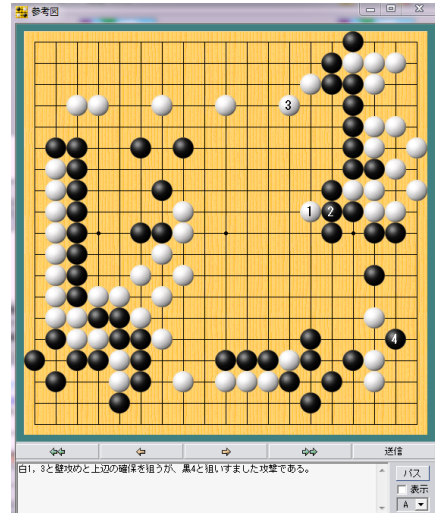
【65-13 図】また、白から 1 は後手で、A の石が逃げ出せないため、黒に右边を打たれて、地合い差が広がる。ちなみに、65-13 図なら、形勢君は 40 目以上の差と見積もっている。

【65-14 図】



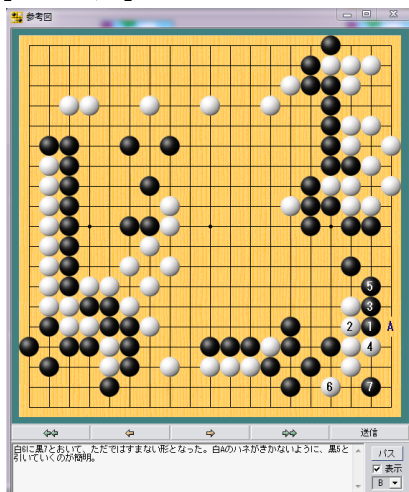
【65-14 図】（実戦）白 1 から、白 5 と三々に入ってきて、上辺には渡らせない態度が重要である。黒の地合い有利を維持するために、白地を大きくしないためである。白 15 と右边を渡ってきて、黒 18 から黒 28 まで、味よくつながることが優先事項である。さすがに、これだけ譲歩すると、地合い差は 15 目程度と、少し詰まって来ているが、黒は右下を狙っている。白は下辺にも負担が残っている。

【65-15 図】



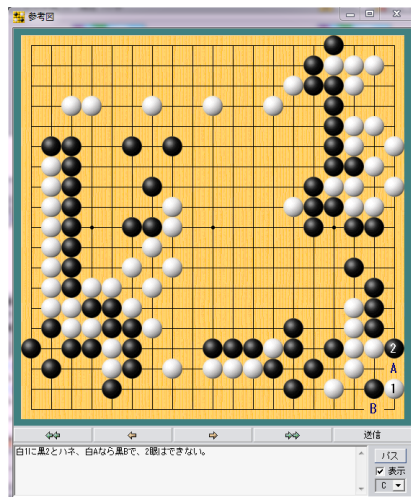
【65-15 図】白 1, 3 と壁攻めと上辺の確保を狙うが、黒 4 と狙いすました一撃である。黒 4 が本局唯一の攻撃手かもしれない。

【65-16 図】



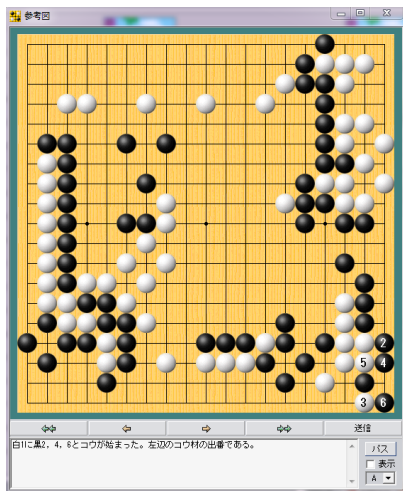
【65-16 図】 白 6 に黒 7 とおいて、ただではすまない形となった。白 A のハネがきかないように、黒 5 と引いていくのが簡明。周りの黒には何の心配もないため、攻撃あるのみ。

【65-17 図】



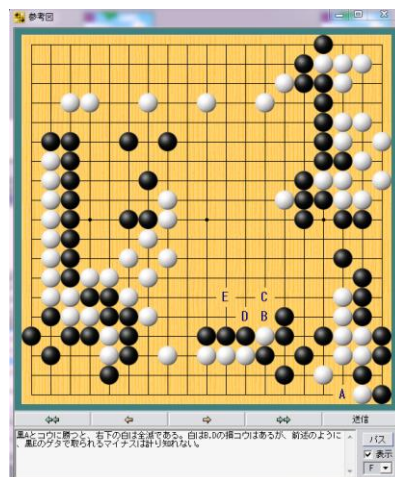
【65-17 図】 白 1 に黒 2 とハネ、白 A なら黒 B で、2 眼はできない。白 1 で B ならば、黒 1 で渡りがあるため、やはり 2 眼はできない。

【65-18 図】



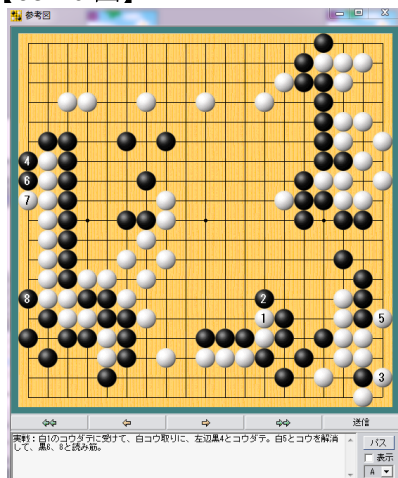
【65-18 図】 白 1 に黒 2, 4, 6 とコウが始まった。左辺のコウ材の出番である。

【65-19 図】



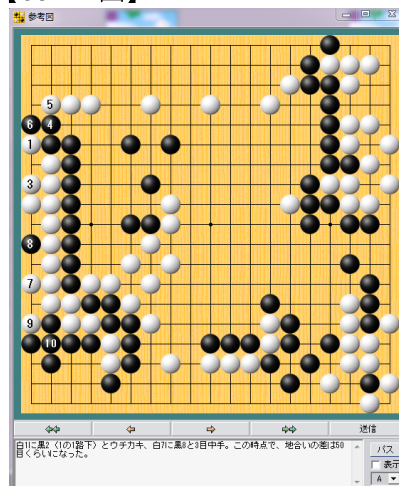
【65-19 図】 黒 A とコウに勝つと、右下の白は全滅である。白は B、D の損コウはあるが、前述のように、黒 E のゲタで取られるマイナスは膨大である。

【65-20 図】



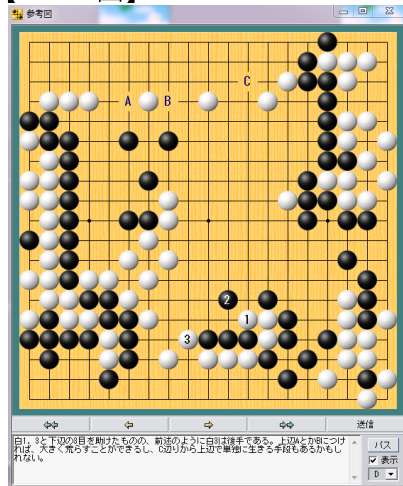
【65-20 図】 実戦：白 1 のコウダテに受けて、白コウ取りに、左辺黒 4 とコウダテ。白 5 とコウを解消して、黒 6、8 と読み筋通り。

【65-21 図】



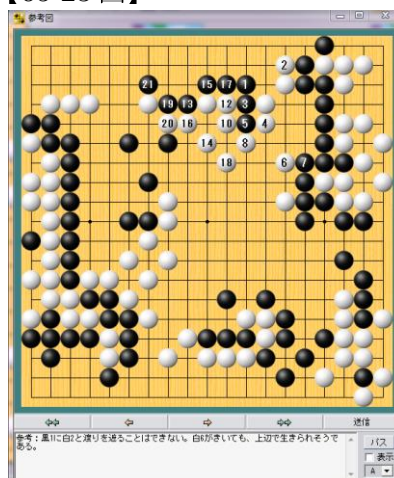
【65-21 図】 白 1 に黒 2 (1 の 1 路下) とウチカキ、白 7 に黒 8 と 3 目中手。この時点で、形勢君によると、地合いの差は 50 目くらいになった。この後、上辺にまとまった地ができなければ、白は投了することになる。

【65-22 図】



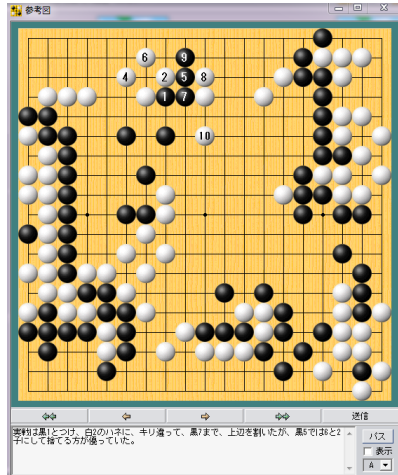
【65-22 図】 白 1, 3 と下辺の 3 目を助けたものの、前述のように白 3 は後手である。上辺 A とか B につければ、大きく荒らすことができるし、C 辺りから上辺で単独に生きる手段もあるかもしれない。

【65-23 図】



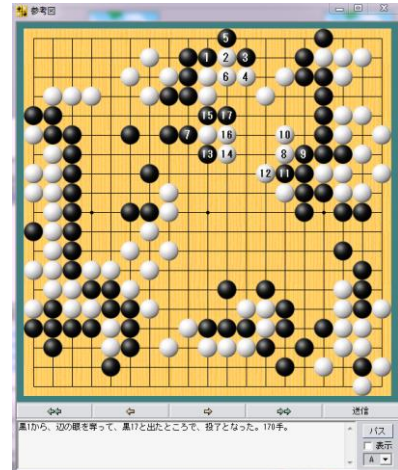
【65-23 図】 参考：黒 1 に白 2 と渡りを遮ることはできない。白 6 がきいても、上辺で生きられそうである。[黒 9 は白 10 の左、黒 11 は白 8 の左]
黒 21 となったとすると、地合い差は 50 目以上と形勢君はみている。

【65-24 図】



【65-24 図】 実戦は黒 1 とつけ、白 2 のハネに、キリ違って、黒 9 まで、上辺を割いたが、黒 5 では 6 と 2 子にして捨てる方が優っていた。

【65-25 図】



【65-25 図】 黒 1 から、辺の眼を奪って、黒 17 と出たところで、中央に大きな地を作ることは無理とみて、投了となった。170 手。